

A4333	50系 快速海峡 カラオケカー+カーペットカー 2両セット		予価: 12,100円(本体価格11,000円)
			JANコード: 139301 カートン内入数: 24

A4334	オハ51-41 三扉化 改造車		予価: 5,830円(本体価格5,300円)
			JANコード: 139318 カートン内入数: 24

商品形態 Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 2両用紙箱入り(A4333)、単品プラケース入り(A4334))

実車 日本各地の老朽化した旧型客車の置き換えと遊休化していた機関車の活用のため、1977年から1982年に掛けて製造されたのが50系一般型客車です。車体は赤一色に塗装され「レッドトレイン」の愛称で親しまれました。1988年の青函トンネル開業に伴い運行を開始したのが快速「海峡」です。青地に白帯への塗装変更、冷房改造、高速化対応、車内アコモ改造が行われた50系5000番代が用いられました。運行開始10周年を控えた1997年、更なる需要拡大を図るために登場したのが「カラオケカー」オハフ50-5010及び「カーペットカー」オハ51-5001～5004です。「カラオケカー」はカラオケボックスをイメージした個室と通信カラオケ設備が、「カーペットカー」は青函連絡船のマス席をイメージしたカーペット床が設置されました。北海道向けに車内保温の強化や窓回りの構造変更を行ったのがオハフ51、オハ51で、外観上はユニットサッシに代わり小窓が並んでいる点が本州型とは異なります。ラッシュ時の乗降をスムーズにするための試みとして、1987年にオハ51-41の車体中央にドアとデッキを増設する改造が行われ、後に711系電車の3扉化改造や721系電車誕生へとつながりました。

商品概要 ・マイクロエース客車シリーズの更なる充実
・マイクロエースのラインナップから特徴ある車両を選んでリリースするMA's choiceシリーズ
・50系の中でも特殊な窓配置の車両を専用ボディ、座席部品で再現

扉や窓が減った青い50系



※写真は前回製品です

- 1997年に登場したユニークな車両を2両セットで発売
 - 写真資料に基づき、前回製品A4352より車体色を少し明るめの青色に変更
 - 各種レタリングをより実車に近い形に修正
- ※走行には別途機関車が必要です
※部品共用のため一部実車と異なります
※オハフ50-5010のテールライトは点灯しません

JR北海道商品化許諾済

編成図 A4333 オハフ50-5010 オハ51-5002



MA's Choice (エムエースチョイス)とは
マイクロエースがこれまでリリースした製品の中から企画担当者
オススメの車両を厳選してパッケージした特別企画品です。

扉が増えた赤い50系



※写真は前回製品を修正したものです

- 50系51型レッドトレインの中で、唯一の三扉化改造車を製品化
 - 前回製品A8646を基にベンチレータ配置を修正
- ※部品共用のため一部実車と異なります
※走行には別途機関車が必要です

JR北海道商品化許諾済

編成図 A4334 オハ51-41

オプション 幅広室内灯: G0001/G0002/G0003/G0004, マイクロカプラー自連・黒: F0003

付属品 行先シール